

【原 著】

中学校「被服構成－古ワイシャツのリメイクによる幼児の  
袖なしスモック製作－」教授書試案  
－ESDを視点とした家庭科教育内容開発研究（Ⅲ）－

佐藤 園 脇坂 吏紗 石川 佳子 平田 美智子

Development of a Lesson Plan Based on the Theory of Inquiry-based Learning in  
Junior High School Home Economics Class “Clothing Composition: Making Sleeveless  
Smocks for Toddlers by Remaking Old Shirts”  
Development of the Home Economics Curriculum Based on the ESD (Ⅲ)

SATO Sono, WAKISAKA Risa, ISHIKAWA Yoshiko, HIRATA Michiko

2023

岡山大学教師教育開発センター紀要 第13号 別冊

Reprinted from Bulletin of Center for Teacher Education  
and Development, Okayama University, Vol.13, March 2023

## 中学校「被服構成—古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作—」教授書試案

—ESDを視点とした家庭科教育内容開発研究(Ⅲ)—

佐藤 園※1 脇坂 吏紗※2 石川 佳子※3 平田 美智子※4

本継続研究では、教科のねらい・原理から、家庭科におけるESDを検討した。その結果、その基盤には「自己と環境との関係において生活を営む上で生じた問題に対し、家政学の研究分野で解明された法則・理論に基づき、より科学的な意思決定を行うこと」が存在していた。前報では、この観点から最も問題があると考えられた平成20・21年度版学習指導要領に示された家庭科「衣生活学習」に焦点を当て、教師レベルでその問題を解決することを目的として開発した中・高等学校衣生活学習のカリキュラムについて報告した。本報では、そのカリキュラムに基づき探求学習の理論で開発した教授書試案について報告する。

キーワード：ESD, 内容開発研究, 家庭科衣生活学習, 中・高等学校, 教授書

※1 岡山大学学術研究院教育学域

※2 岡山県笠岡市立神島外中学校

※3 香川県立観音寺総合高等学校

※4 岡山県立倉敷鷺羽高等学校

### I はじめに—問題の本質と研究の目的—

#### 1 家庭科におけるESDと研究の目的

本継続研究では、平成18年に公刊された中央教育審議会答申において、わが国の学校教育に社会的使命として求められた「未来の日本・生活を支える人材を育成するためのESDの充実」に、家庭科として応えるため、教科のねらい・原理から、家庭科におけるESDについて検討した。その結果、その基盤には「自己と環境との関係性において生活を営む上で生じた問題に対し、家政学の研究分野で解明された法則・理論に基づき、より科学的な意思決定を行うこと」が存在していた<sup>1)</sup>。前報では、この観点から最も問題があると考えられた平成20・21年版学習指導要領に示された家庭科「衣生活学習」に焦点を当て、教師レベルでその問題を解決することを目的として、中・高等学校の衣生活学習のカリキュラム「ESDを視点として『自分と被服との関係』を探求する学習」(表1)の開発について報告した<sup>2)</sup>。本報では、そのカリキュラム開発の中で、問題として把握された「被服製作学習」をESDの視点から問い直し、探求学習の理論

表1 ESDを視点として「自分と被服との関係」を探究する学習

過程	内容	中 学 校 (17時間+α)		高 等 学 校 (17時間+α)	
		テ ー マ	時 間	テ ー マ	時 間
直観	目的	1 なぜ衣服を着るのか?	1	1 なぜ被服を着るのか	1
↑ 分 析 ↓	方 法 原 理	2 どのようにして科学的な衣生活を営むのか? - 「持続可能な発展」を目指して-			16
		(1) 衣服計画	(3)	(1) 被服計画	(3)
		①私の衣服調査	①	①私の被服調査	①
		②私の衣服の生涯	①	②私の被服の生涯	①
		③「持続可能な発展」を目的とした衣服計画	①	③「持続可能な発展」を目的とした被服計画	①
		(2) 衣服の研究-古ワイシャツを事例として-			(6)
		①品質表示・取り扱い絵表示			②
		②織物の組織-顕微鏡観察			
		③繊維の種類・性質-燃焼実験			②
		④衣服の構成-古ワイシャツの分解			②
(3) 被服構成-古ワイシャツのリメイクを事例として-			(6)		
・幼児の袖なしスモック		・幼児のスモック			
(4) 衣服の手入れ	(1)	(4) 被服の手入れ	(1)		
総合		(5) 不足する衣服の選択・購入 (研究課題) -バーゲンセールで良い品を選ぼう-		-幼児のスモックを選ぼう-	α
発展	職業	3 衣服と関連する職業 (調査課題)		3 被服と関連する職業	α

で開発した教授書試案 (表1-2 (3)) について報告する。

探求学習を理論として授業を開発したのは、前報で述べたように、教科のねらい・原理で編成され、「持続可能な将来の構築を意識した意思決定」が可能な内容を編成していた米国中等学校家庭科教科書 (Teen Guide) に示された衣生活学習を分析した結果、家政学の各主題領域から抽出された知識を一般化することにより、「自分と被服との関係」を生徒自身が探求できる学習原理として見いだせたからである<sup>3)</sup>。

## 2 「深い学び」を成立させる学習原理としての探求学習

周知のように、平成29・30年版の学習指導要領の改訂では、「深い学び」の追求が授業改革の課題として示された。

佐藤学は、「深い学び」は、アクティブ・ラーニングにおける学びの質を表現する言葉であり、①活動的、共同的、反省的な学び、②聞き合う関係を基盤とする学び、③「ジャンプ課題」の導入、④真正の学び、⑤学びの主人公になる、⑥ケアの共同体に支えられる、の6つの内実と条件が揃った時に実現する。「深い学び」をアクティブ・ラーニングとして成立させるためには、従来、「教師や教科書から与えられ、変わることがないもの」として認識されてきた知識を、「自らの活動から新しく生まれ、学びにより創造し、再構成され、生きて働くもの」として認識し直すことが必要だとしている。さらに、「深い学び」の成立原理としての「真正の学び」に関しては、「教科の本質に即した学び (文学には文学らしい学びがあり、数学には数学らしい学びがある)」と説明している<sup>4)</sup>。シュワブは、それを「それぞれの学問には、その学問に固有なものの見方や論じ方があり、その『構文的構造』が、その学問の本質的な特徴を表現して」い

るとし、それを教科の学びに導入する「探求学習」を提唱している<sup>5)</sup>。

以上から、前報で明らかにした家庭科の基盤をなす家政学の本質的特徴を表現する「構文的構造」が示す「生活の主体者である人間と生活するために必要な物の構成要素である被服との関係性」を探求する学習計画案開発することは、授業改革の課題に教師レベルで取り組むことを意味していると考えられる。

## Ⅱ 探求学習に基づく授業構成の原理

### 1 「教授書」とは何か

本研究では、教科のねらい・原理をふまえ、科学・学問で明らかになった科学的概念を、学習者が科学的探求の過程に主体的に参加することを通して獲得する「探求学習」を原理とする教育内容開発研究の方法論である「教授書」の作成手順に基づき、家庭科の衣生活学習に関する授業案を開発することとした。

教授書は、教師の明確な理論に基づいた主体的授業づくりの方法を示す、「科学的探求のための問い」「検証のための事例(資料)」「発見習得すべき理論の体系」からなる検証可能な教授・学習モデルとなる授業計画書である。

### 2 授業内容の選択：主題，理論，事例の決定

#### (1) 主題，理論，事例

探求学習に基づく家庭科の授業内容の基本となるものは、主題と理論と事例である。

主題は、授業の標題(1時間、小単元名、単元名)となるものであり、その名称は、学習経験の単位を通して子どもに習得させたい認識、学習をする際のテーマを意味する。したがって、授業の標題は、授業で取り上げる事象・出来事への一つあるいは一群の問いを内に含むことになる。換言すると、主題とは、授業を構成していく際の授業を貫く問いメイン・クエッションであり、さらにそのメイン・クエッションに答えるための一群のサブ・クエッションを含み持つものである。

理論とは、授業で子どもに習得させる概念的説明的知識である。それは、学級のすべての子どもに習得させることをねらいとする「到達目標」となるものである。主題が決定され、授業で取り上げられる事象・出来事およびそれへの問いが決定されると、その問いに科学的に回答し、事象・出来事を科学的に説明していくために、科学的な理論が必要となる。

事例は、主題の問いに答え、理論を発見し、吟味し習得していく上の素材となるものである。探求学習に基づく家庭科授業は、主題を決定し、より一般的普遍的な事象・出来事をとらえ、「なぜ」と問いかけ、それに回答することにより理論を獲得していくことになるが、その問いへの回答は、具体的な事例の分析によってなされていく。理論は、具体的な事象・出来事を分析する過程で発見・創造され、それらに基づき吟味、修正、発展させられていくべきものであり、具体的な事例の分析を通して習得され、応用されていく時、子どもの見方・考え方となっていく。

#### (2) 主題と理論の決定

開発した教授書では、「主題」を「私たちが着用する衣服はどのように構成されるのか？」とし、それに対応する「人と衣服の関係と衣服の機能」「衣服構成の原理・原則」「衣服をリメイクする意味」の3つの理論を設定した。

### (3) 事例の決定

これらの獲得に必要となる事例は、前報で示した櫛田氏の「古ワイシャツの研究」から、古ワイシャツからのリメイクを以下の順に検討した。

#### ①学習指導要領・教科書で取り上げられている被服製作物の検討

平成20・21年版学習指導要領・教科書に示された小・中・高等学校家庭科で取り上げられている被服製作物は、表2に示す通りである。小・中・高等学校ともに、製作に関しては、ファイルカバー、トートバッグ、マイチェアカバー、防災リュック、環境や資源に配慮した衣生活においては、トレーナーをクッションカバーやレッグウォーマーにリメイクしたり、セーターやズボンをバッグにリメイクすることが挙げられていた。衣服の製作は、小学校のカフェエプロンと中学校のハーフパンツのみであった。

表2 小・中・高等学校家庭科における製作例

	小学校	中学校	高等学校
製作	・ランチョンマット ・クッションカバー ・ウォールポケット ・ティッシュボックスカバー ・お弁当包み	・ファイルカバー ・トートバッグ ・マイチェアカバー ・防災リュック ・ハーフパンツ	なし
環境や資源に配慮した衣生活	・シャツとクッションにリメイク	・トレーナーをクッションカバーやレッグウォーマーにリメイク ・セーターやズボンをバッグにリメイク	・ズボンを巾着にリメイク

表3 被服製作で獲得させるべき知識・技能

小学校	中学校	高等学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に必要な材料や用具の準備</li> <li>・ミシン縫い</li> <li>・製作計画</li> <li>・型紙の作り方と使い方</li> <li>・まち針の打ち方</li> <li>・ぬいしろをつけて布をたつ</li> <li>・しるしつけ</li> <li>・なみ縫い</li> <li>・本返し縫い</li> <li>・半返し縫い</li> <li>・しつけ</li> <li>・三つ折り縫い</li> <li>・ぬいしろを割る</li> <li>・ポケット作り</li> <li>・ボタンつけ</li> <li>・洗濯</li> <li>・アイロンかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に必要な材料や用具の準備</li> <li>・ミシン縫い</li> <li>・製作計画</li> <li>・型紙の選び方</li> <li>・布の運び方</li> <li>・まち針の打ち方</li> <li>・ぬいしろをつけて布をたつ</li> <li>・しるしつけ</li> <li>・なみ縫い</li> <li>・本返し縫い</li> <li>・半返し縫い</li> <li>・しつけ</li> <li>・三つ折り縫い</li> <li>・ぬいしろを割る</li> <li>・ポケット付け</li> <li>・ボタンつけ</li> <li>・洗濯</li> <li>・アイロンかけ</li> <li>・まつり縫い</li> <li>・千鳥がけ</li> <li>・返し縫い</li> <li>・二度縫い</li> <li>・割り縫い</li> <li>・伏せ縫い</li> <li>・袋縫い</li> <li>・縫いしろのしまつのしかた(返し縫い、糸を結ぶ、三つ折り縫い、かがり縫い、ジグザグミシン、ロックミシン、ピンキング+二度縫い)</li> <li>・スナップ付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシン縫い</li> <li>・製作計画</li> <li>・なみ縫い</li> <li>・半返し縫い</li> <li>・三つ折り縫い</li> <li>・ポケット付け</li> <li>・ボタンつけ</li> <li>・洗濯</li> <li>・まつり縫い</li> <li>・返し縫い</li> <li>・スナップ付け</li> </ul>

#### ②古ワイシャツから製作できる大きさの衣服の検討

しかし、前報でも述べたように、家庭科衣生活学習の目的から、被服製作では、衣服の製作を取り上げ、人間と衣服の関係を考える学習を展開したいと考え、古ワイシャツから製作できる大きさの衣服として、幼児の衣服に着目した。

学習指導要領解説を検討すると、中学校家庭科の保育学習において、「家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活に工夫し、計画を立てて実践できること」の指導項目に関して「幼児の遊び道具の製作、間食の調理、簡単な衣服の製作など、幼児の生活に役立つものを計画を立てて作ったり、作ったものを用いて幼児との触れ合いやかかわり方を工夫したりすることなども考えられる」<sup>6)</sup>という記述があった。これから、幼児と触れ合いやかかわりを持つという学習の前に、幼児の「簡単な衣服の製作」をする時間を、幼児の衣服製作にすることで、保育の学習時間も活用した衣服製作授業の可能性が見いだせた。

③平成20・21年版学習指導要領・教科書に示された被服製作で習得すべき知識・技術の検討

古ワイシャツから幼児の衣服を製作する場合、その製作で、習指導要領・教科書の被服製作で取り上げられている知識・技術を習得できるようにしなければならない。そのため、小・中・高等学校家庭科学習指導要領解説と教科書から、被服製作・手入れに関する知識・技術を抽出した。その結果は、表3に示す通りである。

これから、表3に示す中学校被服製作に関する知識・技術を含み、高等学校ではそれがより系統的に発展した学習となるように、中学校では「幼児の袖なしスモック」、高等学校では「幼児のスモック」を事例として設定した。

以下、開発した中学校の教授書試案とその授業構成の論理について述べる。

### Ⅲ 中学校家庭科「被服構成－古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作－」教授書試案

#### 1 「被服構成－古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作－」の授業構成の論理

前報で述べた衣生活学習の目的から、小単元では「わたしたちが着用する衣服はどのように構成されるのか」ということを、衣服のリメイクを通して明らかにすることを目的とした。この目的を、学習者が探求できるように、テーマである「被服はどのように構成されるのか」を、学習のし方を変えて三度繰り返して学習できるように授業を次のように構成した。

##### ①導入部

導入部では、テーマを直観的につかむことができるように、袖なしスモックの実物を提示し、教師が「これは、何か。」「どこで手に入れたと思うか。」と問う。そして、前時の学習で分解した古ワイシャツ（表1 2-(2)-④）から、袖なしスモックを製作し、幼稚園を訪問する時に持っていくことを告げる。

##### ②展開部

展開部では、導入部で直観的につかんだテーマを、分析的に学べるように8段階の学習で構成した。

分析的な学習1では、「人間と衣服の関係」を考えさせるために、袖なしスモックを着た幼児の写真を提示し、「なぜ、スモックを着るのか」と問い、衣服の機能を理解させる。

分析的な学習2では、「何歳児用のスモックか」「幼児と衣服の大きさはどのようにすれば分かるか」と問い、袖なしスモックの大きさを考えさせることで、製作する前には、製作するものの大きさを知る必要性を理解させ、採寸の概念をおさえる。

分析的な学習3では、ワイシャツを分解した時と同じように、袖なしスモックを分解すると、どのような部分から成り立っているのか、袖なしスモックの構成を予測させ、分解した袖なしスモックを提示し、被服構成を理解させる。そして、ぬいしろに気づかせ、布を裁断する時には、できあがりの大きさにぬ



いしる部分を足して考えなければならないことを理解させる。

分析的な学習4では、型紙の実物を見せ、分解したスモックと比較させ、「できあがりの大きさに切ったものが型紙である」という型紙の定義を理解させる。布目線について確認した後に、「どのような順序で型紙を配置するのか」と問い、布が無駄にならないような配置の仕方を考えさせる。そして、布と型紙がずれないようにするために、まち針でとめることの必要性に気づかせ、まち針の打ち方を理解させる。型紙配置の原則を確認した上で、それに従い実際に袖なしスモックの型紙を、分解したワイシャツの上に配置させる。

分析的な学習5では、まず、製作に必要な用具について理解させる。裁断する時は、平らな場所で、布をなるべく持ち上げないようにすることや、はさみの下側を台につけて布を裁つことを理解させる。そして、縫いしろの印をつけさせ、裁断させる。次に、ミシン縫いをする前に、しつけ糸であらく仮縫いをしておくと、縫っている間に布地がずれにくくなることを理解させる。

分析的な学習6では、ミシン縫いの準備として、実習中やミシンの使用で気をつけることを確認させ、ミシンで縫える状態にさせる。

分析的な学習7では、分解したワイシャツのカフスを使って試し縫いをし、糸調子を確認させ、直線縫いの練習をさせる。

分析的な学習8では、「スモックをどのような順で縫い合わせるのか」と問い、その原則を説明し、縫い方の原則と各部の縫い方について確認し、袖なしスモックの製作に入る。まず、ポケットを作り、前身頃に縫い合わせ、前後身頃それぞれに見返しをつけ、肩を縫う。次に、襟ぐりにステッチをかけ、見返しと身頃の脇を続けて縫い、袖ぐりにステッチをかけ、スナップボタンと飾りボタンを付けて、袖なしスモックを仕上げる。

### ③終結部

終結部では、分解前のワイシャツと古ワイシャツから作った袖なしスモックを提示し、「不要な衣服をリメイクすることに、どのような意味があるのか」と問い、表1の「2 どのようにして科学的な衣生活を営むのか?—『持続可能な発展』を目指して—」で明らかにした「②私の衣服の生涯」「③『持続可能な発展』を目的とした被服計画」から、「不要な衣服をリメイクすることは、衣服の廃棄を先延ばしする意味がある」こと、また、「不要な衣服から必要な衣服を作ることは被服費を節約し、衣服の廃棄量を減らす意味がある」ことを獲得させ、学習を終了する。

## 2 「被服構成—古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作—」 教授書試案

開発した教授書試案は、資料1に示す通りである。

## IV おわりに

開発した中・高等学校の教授書試案は、岡山県・香川県の中・高等学校で実践されている。その結果に関しては、別稿で報告したい。

参考・引用文献

- 1) 篠原陽子・久保沙織・信清亜希子・佐藤園「ESD(持続発展教育)を視点とした家庭科教育内容開発研究(Ⅰ)-小学校家庭科における布の熱移動特性に関する実験の開発-」『日本教科教育学会誌』第34巻第4号, 2012, 9-18頁
- 2) 佐藤園・脇坂吏紗・石川佳子「ESDを視点とする『自分と被服との関係』を探究する衣生活学習の構想-ESDを視点とした家庭科教育内容開発研究(Ⅱ)-」『岡山大学教育学研究科研究集録』第182号 投稿中
- 3) 佐藤園『家庭科授業構成研究』家政教育社, 2012, 75-150頁
- 4) 佐藤学『『深い学び』としてアクティブ・ラーニングが成立する条件』開隆堂出版『KKGジャーナル』52(1), 2017, 9-10頁
- 5) 佐藤学『カリキュラムの批評』世織書房, 1996, 83-94頁
- 6) 文部科学省『中学校学習指導要領解説技術・家庭編』教育図書, 平成20年, 48頁

---

Development of a Lesson Plan Based on the Theory of Inquiry-based Learning in Junior High School Home Economics Class “Clothing Composition: Making Sleeveless Smocks for Toddlers by Remaking Old Shirts”

Development of the Home Economics Curriculum Based on the ESD (Ⅲ)

SATO Sono\*1, WAKISAKA Risa\*2, ISHIKAWA Yoshiko\*3 HIRATA Michiko\*4

(Abstracts) In this ongoing research, ESD in home economics was examined from the aim and principle of the subject. As a result, the following idea existed as its foundation: “To solve the problems that arise in living in the relationship between the self and the environment, based on the laws and theories clarified in the research field of home economics, to make scientific decisions.” In the previous report, we focused our analysis on the “Clothes Learning” in home economics as indicated in the 2008/2009 Courses of Study, which was considered to be the most problematic from this perspective. Then, we reported on the “Curriculum for Clothes Learning” for junior and senior high schools, which was developed with the aim of solving the problem at the teacher level. In this paper, we report on the lesson plan developed by the theory of inquiry learning based on the curriculum.

Keywords : ESD, content development research, home economics clothing life learning, middle and high school, proposed lesson plan based on the theory of inquiry learning

\*1 Faculty of Education, Okayama University



\*2 Kasaoka City Kounoshimasoto Junior High School

\*3 Kagawa Prefectural Kanonji Sogo High School

\*4 Kurashiki Washu High School

**資料 「被服構成—古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作—」 教授書試案**

1 小单元名

「被服構成—古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作—」

2 小单元の目的

「わたしたちが着用する衣服はどのように製作されるのか」ということを、衣服のリメイクを通して明らかにする。

3 到達目標（概念的・説明的知識）

- ① 人と衣服の関係と衣服の機能
- ② 衣服構成の原理・原則
- ③ 衣服をリメイクする意味

4 小单元の指導計画

第1次 被服構成—古ワイシャツのリメイクによる幼児の袖なしスモック製作—（6時間）

5 小单元の展開

第1次 わたしたちが着用する衣服は、どのように製作されるのか

パート	主な発問	教授・学習活動	資料	到達目標 （（ ）内は予想される子どもの答え）
導入	<p><b>テーマの直感的な学習</b></p> <p>1 これは何だと思うか。</p> <p>・これは、どこで手に入れたと思うか。</p> <p>・実際にワイシャツからエプロンを製作して、幼稚園を訪問するときに持って行こう。</p>	<p>T：袖なしスモックの実物を提示して発問</p> <p>P：予想して答える</p> <p>T：分解したワイシャツを提示し説明する</p>	<p>①</p> <p>②</p>	<p>（・袖なしスモック）</p> <p>（・古着屋 ・アウトレットモール）</p> <p>・皆がそれぞれ分解したワイシャツからできている。</p>
	<p><b>テーマの分析的な学習</b></p> <p>1 人間と衣服の関係と衣服の機能</p> <p>・スモックは何のために着用するか。</p> <p>・体のどの部分をスモックで覆えばよいのか。</p> <p>2 衣服の大きさ</p> <p>・この大きさは、何歳くらいの物だと思うか。</p>	<p>T：袖なしスモックを着た幼児の写真を提示して発問</p> <p>P：答える</p> <p>T：発問</p> <p>P：答える</p> <p>T：発問</p> <p>P：予想して答える</p> <p>T：説明する</p>	<p>③</p>	<p>・調理するときなどに服が汚れないようにするため。</p> <p>・体の前の部分</p> <p>・4歳</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそう思ったのか。</li> <li>・どのようにしたら大きさが分かると思うか。</li> <li>・子どものどの部分の大きさが分かるとよいか。</li> <li>・幼稚園児の平均的な身長はどのくらいだろうか。</li> <li>・ワイシャツを袖なしスモックに作り替えるには、まず手順を考えなければならない。</li> </ul>	<p>T：発問 P：答える</p> <p>T：発問 P：予想して答える T：説明する</p> <p>T：発問 P：予想して答える T：説明する</p> <p>T：資料を提示して発問 P：読み取り答える T：説明する</p>	<p>(・近所の子どもと大きさが似ているから)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの大きさが分かれば、スモックの大きさも分かる。</li> <li>・着丈</li> <li>・体の各部分の寸法を測ることを採寸という。</li> <li>・4歳では約100cm</li> <li>・5歳では約105cm</li> </ul>
3	<p>3 被服構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この袖なしスモックを、ワイシャツと同じように分解すると、どのような部分に分解されるか。</li> <li>・この部分は何か。</li> </ul>	<p>T：発問 P：予想してノートする P：答える T：説明する</p> <p>T：ぬいしろの部分 を提示して発問 P：予想して答える T：説明する P：ノートする</p>	<p>④</p> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・袖なしスモックは、前身頃・後ろ身頃・見返し・ポケットから成り立っている。</li> <li>・ぬいしろ</li> <li>・布を裁断するときにはできあがりの大きさにぬいしろ部分を足して考えなければならない。</li> </ul>
4	<p>4 型紙の配置の原理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この紙は何か。</li> <li>・この矢印は何か。</li> <li>・どのようにして型紙を作るのか。</li> <li>・ワイシャツのどの部分を使って型紙を配置するか。</li> <li>・型紙を布に配置するとき、どの順番で配置するとよいか。</li> <li>・それはなぜか。</li> <li>・布と型紙がずれないためにはどのような工夫をすればよいか。</li> </ul>	<p>T：型紙を提示して発問 P：予想する T：説明する</p> <p>T：型紙を提示して発問 P：答える T：説明する</p> <p>T：説明する P：作業をする</p> <p>T：発問 P：予想して答える T：説明する</p> <p>T：発問 P：予想して答える T：説明する</p> <p>T：発問 P：答える P：ノートする</p>	<p>⑥</p> <p>⑥'</p> <p>⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型紙</li> <li>・できあがりの大きさに切った紙を型紙という。</li> <li>・布目線</li> <li>・型紙には、布目線のやじるしが表記されている。</li> <li>・たての布目を示すしるしである。</li> <li>・前身頃で前身頃、後ろ身頃で後ろ身頃、袖で見返しとポケットをとる。</li> <li>・大きな物から配置する。</li> <li>・布が無駄にならないようにするため。</li> <li>・まち針を打つ。</li> <li>・きれいに縫い合わせるためにもまち針は必要である。</li> </ul>

	<p>・まち針をどの順で止めるか。</p> <p>・どのようにして型紙を配置するのか。</p> <p>5 5 裁断・しるしつけの原理</p> <p>・製作にはどのような用具が必要なのか。</p> <p>・裁断するときに気を付けることは何か。</p> <p>・どのようにして裁断するのか。</p> <p>・どのようにしてしるしをつけるのか。</p> <p>・布がずれないようにするためにはどうすればよいか。</p> <p>・しつけはどのようにするのか。</p> <p>・針や糸はどのようなものを使うか。</p> <p>・ワイシャツを縫う場合はどの針と糸を使うのが適しているのか。</p> <p>・袖なしスモックで丈夫に縫うべきところはどこか。</p> <p>・それはなぜか。</p>	<p>T : 発問 P : 答える T : 説明する</p> <p>T : 実物を提示して説明する P : ノートする P : 作業をする</p> <p>T : 実物を提示して説明 P : 作業をする</p> <p>T : 発問 P : 答える P : ノートする</p> <p>P : 作業をする</p> <p>T : 実物を提示して説明する P : ノートする P : 作業をする</p> <p>T : 発問 P : 答える T : 説明する P : ノートする P : 作業をする</p> <p>T : 発問 T : 説明する</p> <p>T : 資料を提示して発問 P : 答える</p> <p>T : 発問 P : 答える T : 発問 P : 答える</p>	<p>⑧ ・まち針でまずは両端をとめ、次に真中、その他の順番に打つ。 ・縫う方向に対して直角にとめる。</p> <p>⑨ ・布の上に型紙を置き、まち針でとめ、型紙の周囲にぬいしろをつける。</p> <p>・巻き尺、ものさし、チャコ鉛筆、布用複写紙、ルレット、糸切りばさみ、手縫い糸、手縫い針、まち針、指ぬき、裁縫ミシン、ミシン糸、ミシン針、リッパー、アイロン、アイロン台、霧吹き</p> <p>・平らな場所で、布をなるべく持ち上げないようにする。 ・はさみの下側を台につけて布を裁つ。 ・はさみの受け渡しをするときは、相手に刃先を向けない。 ・ぬいしろにそって布を裁断したものが、服を分解したものと同じ大きさになる。</p> <p>⑩ ・裁断した布地の裏面に、できあがり線のしるしをつける。</p> <p>・ミシン縫いをする前に、しつけ糸であらく仮縫いをしておくと、縫っている間に布地がずれにくくなる。</p> <p>・針や糸は、布地の厚さや材質に適したものを選ぶ必要がある。 ・針や糸の太さが合わないと、うまく縫えなかったり、糸が切れたり、布地に穴があくことがある。 ・糸の色は、布と同じ色を選ぶ。</p> <p>⑪ ・11番のミシン針 ・7番の手縫い針 ・60番の糸 ・30番のボタンつけ糸 ・手縫い針は、番号が大きいほど細く、ミシン針は、番号が大きいほど太い。</p> <p>①' ・縫い始めと縫い終わり</p> <p>・使っている途中にほどけてしまわないため</p>
6	6 ミシン縫いの準備		

	<p>・実習中に気を付けることは何か。</p> <p>・ミシンを使うときに気を付けることは何か。</p> <p>・ミシンの電源を入れ、動くかどうか、針が正しくついているかを確認しなさい。</p> <p>・手順に従って、ミシンで縫える状態にしなさい。</p> <p>7 ミシン縫いの練習をする。</p> <p>・カフスを使って10cm程度縫い、糸調子を確認しなさい。</p> <p>・カフスを使って直線縫いの練習をしなさい。</p> <p>8 どのようにしてワイシャツをエプロンにリメイクするのか。</p> <p>・どの順で縫い合わせるか。</p> <p>・どのようにしてポケットを作り、前身頃に縫い合わせるのか。</p> <p>・どのようにして前後身頃それぞれに見返しをつけるのか。</p> <p>・どのようにして肩を縫うのか。</p> <p>・どのようにして衿ぐりにステッチをかけるのか。</p> <p>・どのようにして返しと身頃の脇を続けて縫うのか。</p> <p>・どのようにして袖ぐりにステッチをかけるのか。</p> <p>・どのようにしてスナップボタンと飾りボタンを付けるのか。</p>	<p>T：発問 P：答える</p> <p>T：発問 P：答える</p> <p>T：説明する P：作業をする</p> <p>T：説明する P：作業をする</p> <p>P：作業をする</p> <p>P：作業をする</p> <p>T：説明する</p> <p>T：実物を提示して説明する P：作業する</p> <p>T：実物を提示して説明する P：作業する</p> <p>T：説明する P：作業する</p> <p>T：説明する P：作業する</p> <p>T：説明する P：作業する</p> <p>T：説明する P：作業する</p> <p>T：実物を提示して説明する P：作業する</p>	<p>・作業台の上は整理して使い、機械や用具は安定した場所に置く。</p> <p>・実習中はよそ見をしたり、ふざけたりしない。</p> <p>・縫うとき以外は、足をコントローラから外しておく。</p> <p>・体が針棒の正面にくるように座る。</p> <p>・縫っているときは、針先から目を離さない。</p> <p>・針の下に手を入れない。</p> <p>・糸調子が合っていない場合は、上糸調節装置で調節する。</p> <p>・まず各部分を縫い、全体をつなげる。</p> <p>1. ポケットを作り、前身頃に縫い合わせる。</p> <p>2. 前後身頃それぞれに見返しをつける。</p> <p>3. 肩を縫う。</p> <p>4. 衿ぐりにステッチをかける。</p> <p>5. 見返しと身頃の脇を続けて縫う。</p> <p>6. 袖ぐりにステッチをかける。</p> <p>⑫ ・ポケット口を三つ折りにして縫い、わきと下を二つ折りにして、前身頃に縫いつける。</p> <p>⑬ ・衿ぐりと袖ぐりのカーブには切り込みを入れる。</p> <p>・肩を筒にしてぐるりと縫い、表に返してアイロンで形を整える。</p> <p>・0.2cmの幅で縫う。</p> <p>・中表にして縫う。</p> <p>・0.2cmの幅で縫う。</p> <p>⑭ ・前身頃の1番上にスナップボタンと飾りボタンを付ける。</p>
終 結	<p>9 これまで学習してきたことから考えると「不要な衣服をリメイクすること、どのような意味があるのか？」</p>	<p>T：発問 P：ノートする</p>	<p>◎不要な衣服をリメイクすることは、衣服の廃棄を先延ばしする意味がある。</p> <p>◎不要な衣服から必要な衣服を作ることは被服費を節約し、衣服の廃棄量を減らす意味がある。</p>

## 6 教授資料

### ①実物「袖なしスモック」

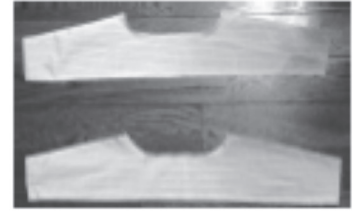


### ②実物「古ワイシャツを分解したもの」

・ えり



・ヨーク



・ 前見頃

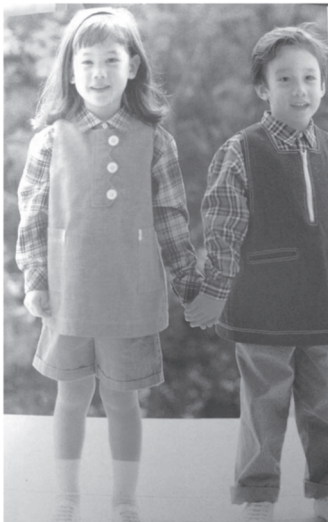


・ 後ろ身頃

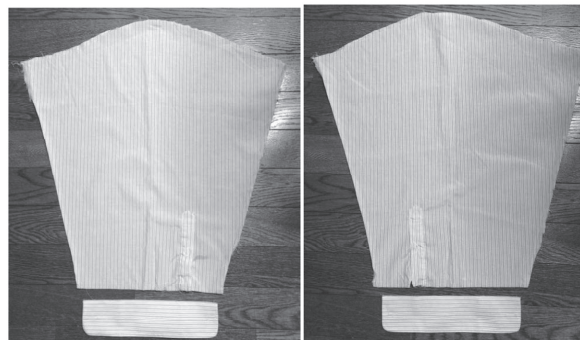


### ③写真「袖なしスモックを着た幼児」

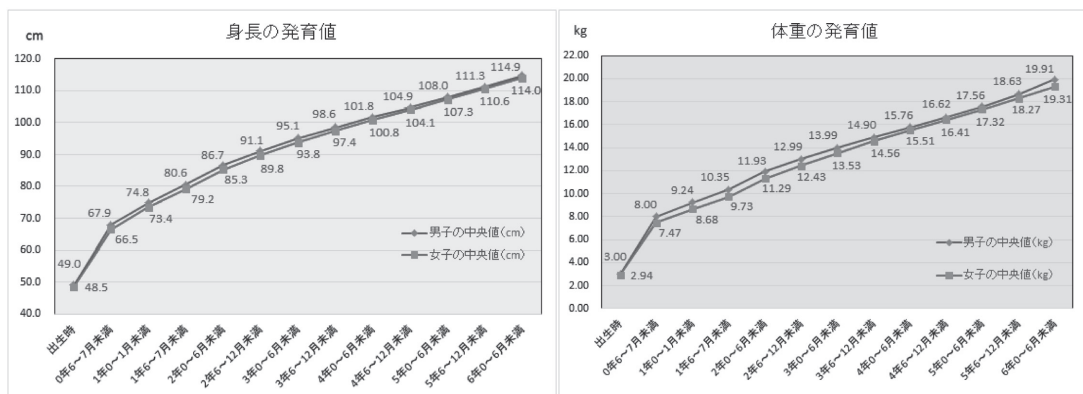
(参考・引用文献①)



・ 袖、カフス



### ④グラフ「乳幼児（男子、女子）体重及び身長と比較」（参考・引用文献②）





⑤実物「袖なしスモックを分解したもの」

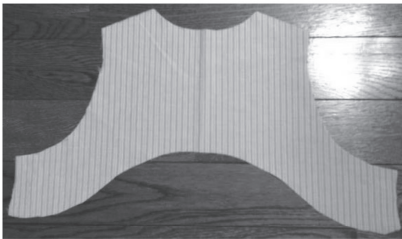
・前見頃



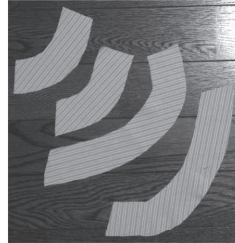
・後ろ身頃



・見返し



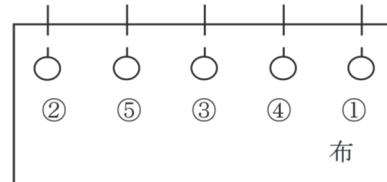
・ポケット



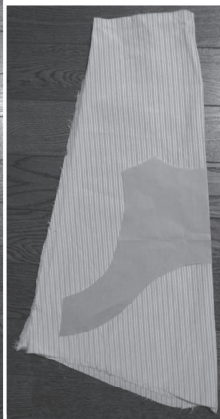
⑥実物「袖なしスモックの型紙」



⑧絵「まち針の打ち方」

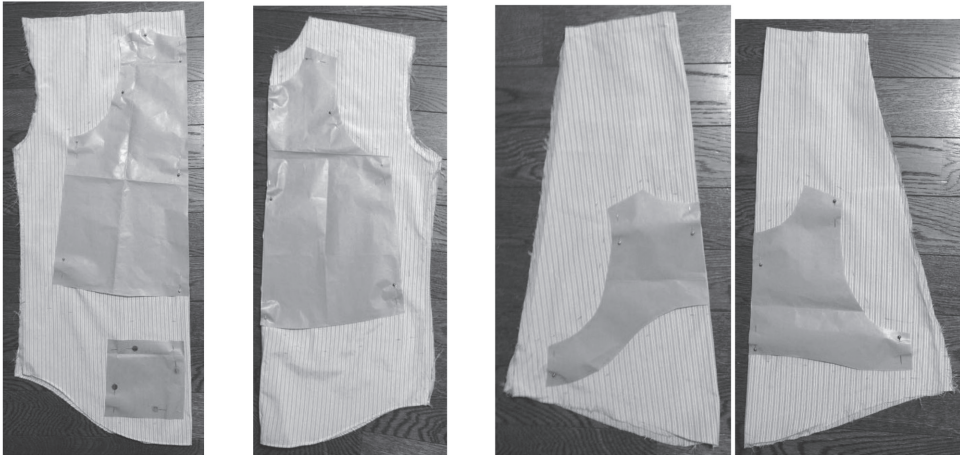


⑦実物「分解したワイシャツに型紙を配置したもの」





⑨実物「分解したワイシャツに型紙を配置し、まち針でとめたもの」



⑩実物「裁断した布地にしるしをつけたもの」



⑪表「布と針と糸の関係」(参考・引用文献③)

布地	ミシン針	手縫い針	糸(綿・ポリエステル)	ボタンつけの糸	しつけ糸
うす地	9番	9番	80番	50番	洋裁用のしつけ糸(よりのゆるい綿糸)
ふつう地	11番	7番	60番	30番	
厚地	14番	6番	50番	20番	

⑫実物「前見頃にポケットをまち針でとめたもの」



⑬実物「前見頃とポケットを縫い合わせたもの」



⑭実物「見頃に見返しをつけたもの」



●袖なしスモックの作り方●(参考・引用文献④)

1. 大きさを決め、型紙を作る。
2. 布の上に型紙をのせ、まち針でとめる。ぬいしろをつけて、裁ち切り線のしるしをつけ、裁断する。
3. 布の裏にできあがり線のしるしをつける。
4. ポケットを作り、前身頃に縫い合わせる。
5. 前後身頃それぞれに見返しをつける。
6. 肩を縫う。
7. 衿ぐりにステッチをかける。
8. 見返しと身頃の脇を続けて縫う。
9. 袖ぐりにステッチをかける。

7 参考・引用文献

①林こども『子どものエプロン&スモック』文化出版局、1992

②一般調査及び病院調査による身長・体重の発育値

[https://www.hokende.com/life-insurance/education/columns/height\\_and\\_weight\\_of\\_babies](https://www.hokende.com/life-insurance/education/columns/height_and_weight_of_babies)

③『技術・家庭 家庭分野』開隆堂、平成23年

④前掲書①